

企業とNGOの連携

カカオ産業の児童労働撤廃に向けた取り組み事例から学ぶ

2023年6月8日

認定NPO法人ACE 川村祐子



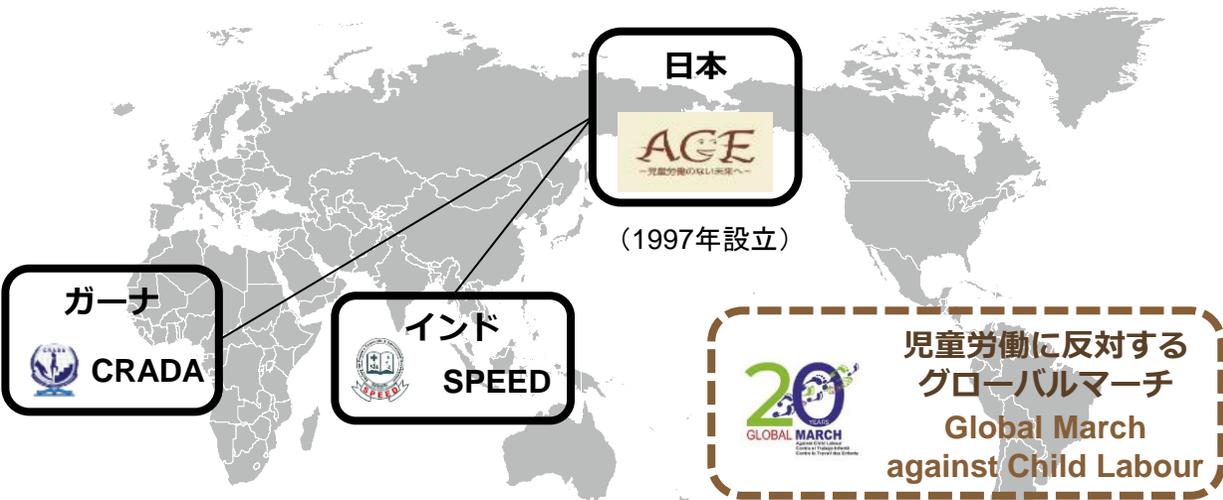
ACE Action against Child Exploitation

【ACEのパーパス（団体の存在意義）】

私たちは、子ども、若者が自らの意志で、
人生や社会を築くことができる世界をつくるために、
子ども、若者の権利を奪う社会課題を解決します。



- 1997年12月に学生5人で設立。
1998年に世界103か国で展開された
「児童労働に反対するグローバルマーチ」を
日本で実施する
- インド、ガーナの28村で2556人の子どもを
児童労働から解放し、約1万3500人の教育を
支援してきました。(2022年8月現在)
- 世界に1億6000万人(ILO発表、2020年)
いるといわれる児童労働にフォーカス



児童労働に反対するグローバルマーチ
カイラシュ・サティヤルティ氏（2014
年ノーベル平和賞受賞者）が創設



ACEの活動内容 4つの事業で包括的にアプローチ



SDG 8.7: 強制労働の廃絶、現代の奴隷制度及び人身取引の廃止、子ども兵士の採用と仕様を含む最悪の形態の労働の禁止及び撤廃のための即時かつ効果的な措置を取り、2025年までにあらゆる形態の児童労働を終わらせる

子ども・若者
支援事業



ガーナ（カカオ生産地）、
インド（コットン生産地）
でプロジェクトを実施

ソーシャル
ビジネス推進事業



企業との連携、
ビジネスと人権に関する
講演・研修

啓発・市民参加
事業



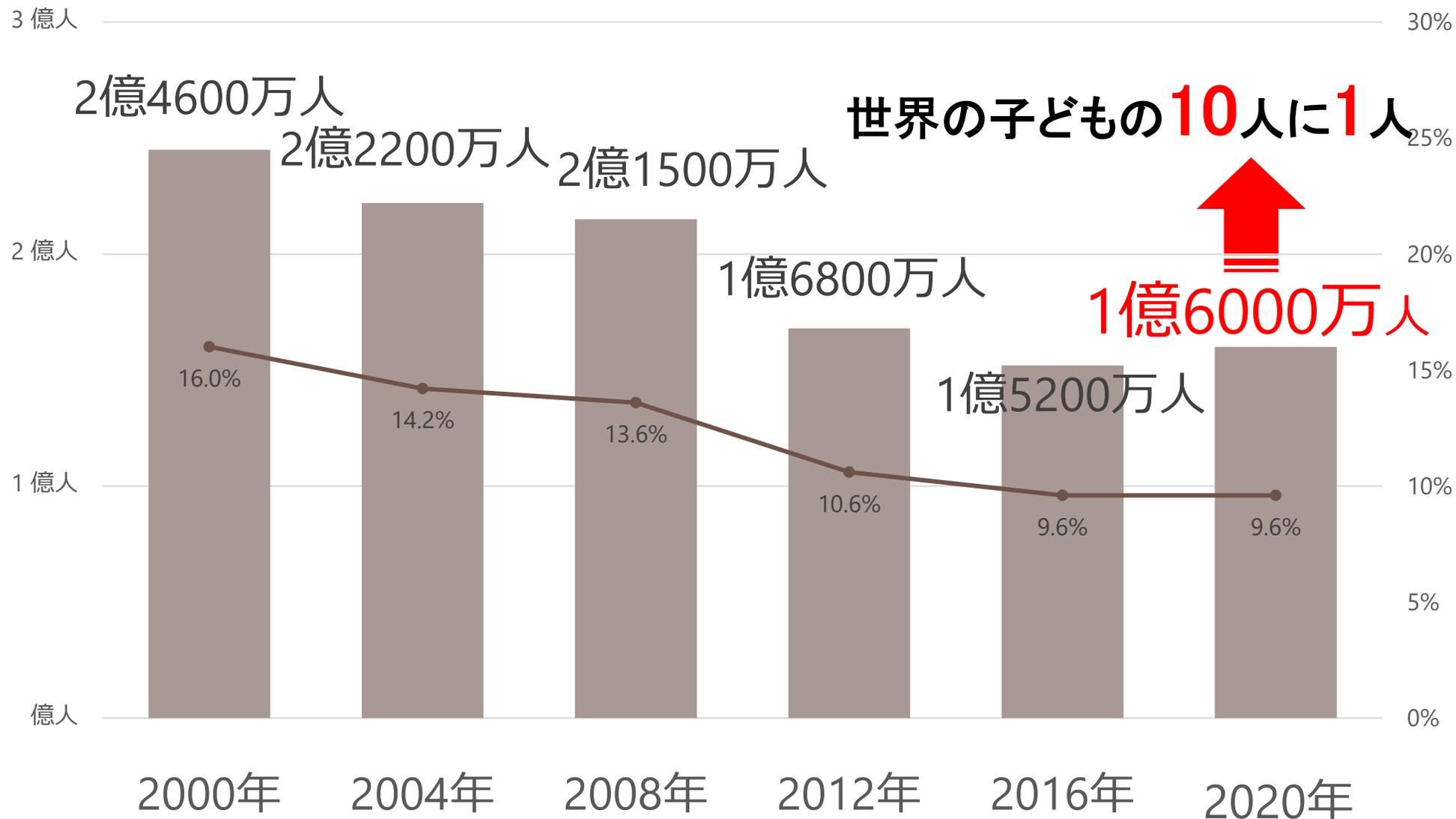
講演・ワークショップ、
教材開発・販売、
エシカル消費

アドボカシー
事業



政策提言、
国際会議への参加
海外NGOとの連携

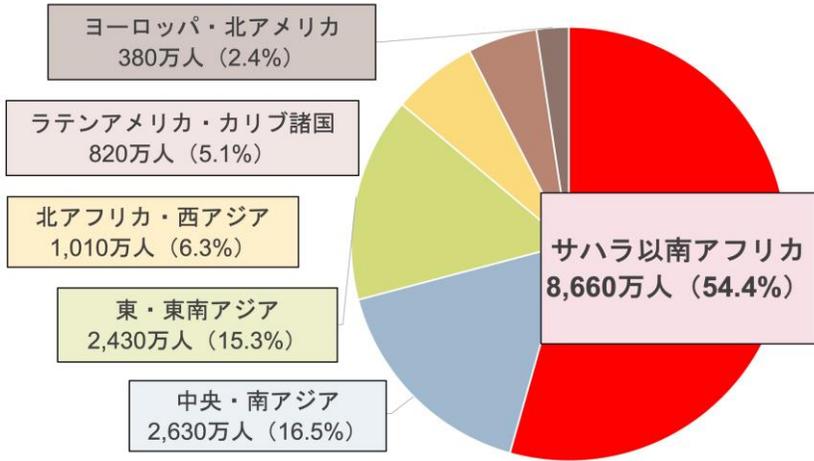
児童労働をする子ども 1億6000万人 (ILO&UNICEF, 2021)



出典: ILO & UNICEF Global Estimate 2021

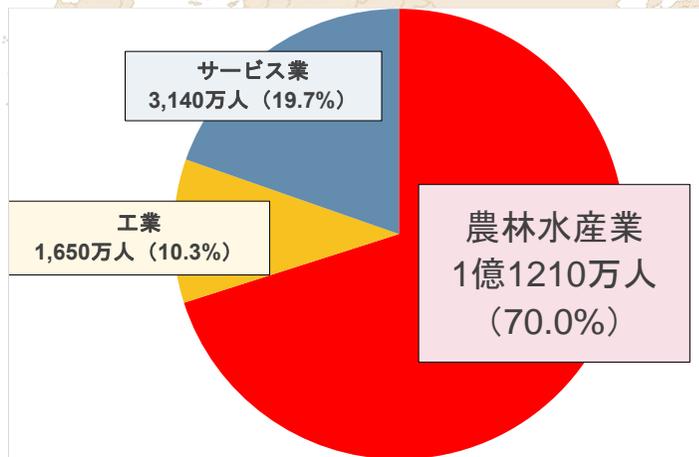
児童労働 アフリカ及び農業に集中 (ILO&UNICEF, 2021)

地域別 児童労働者数



アフリカは、子ども人口も増加。その他に貧困、インフォーマル経済の割合の高さ、紛争、干ばつなどが児童労働増加の要因に。子どもの人口増加スピードに、経済成長や社会保障の増強スピードが追いついていない可能性。

産業別 児童労働者数



児童労働者の年齢別割合



年齢層の低い子どもの児童労働者数が増えていることが大きな懸念。教育機会の損失や、健康な心身の生育に影響。

※データ出所：ILO&UNICEF, 2021

カカオ産業の児童労働の現状～二大カカオ生産国で156万人

世界のカカオ生産の約7割を占める西アフリカ。

- ・コートジボワールとガーナで156万人の児童労働
- ・95%が危険有害労働に従事
- ・ガーナは77万人、カカオ生産地の農家の55%
(NORC報告書、2020年10月)

調査年	ガーナ	コートジボワール
2008-09	947,777	809,835
2013-14	918,543	1,203,473
2018-19	765,754	790,647

データ: Tulane University (2015年)、NORC (2020年)



日本が輸入するカカオの約8割はガーナ産！



ACE 「しあわせへのチョコレートプロジェクト」のあゆみ

2008
ガーナで調査



2009年2月～
スマイル・ガーナ
プロジェクト



2011年～
森永製菓との連携

1チョコ for 1スマイル

あなたが食べると、もう一人がうれしい。



2016年～
国際会議での発信



2020年3月
ガーナ政府の「児童労働
フリーゾーン（CLFZ）」
ガイドライン発行



2020.10～2022.6
JICA委託調査事業
(ガーナCLFZ実証調査)



2008

2011

2016

2020

2007～
教材開発
ワークショップ実施



2009～2017
寄付つきチョコレートを通じた
ファンレイズ活動



2012～
企業との連携拡大



2012 映画「バレンタイン一揆」
2015 書籍出版



2018年～
ガーナ政府との
連携、制度構築



2021.12
「開発途上国における
サステイナブル・カカオ・
プラットフォーム」内
児童労働分科会設置

2022～
VOICE Network 加盟。

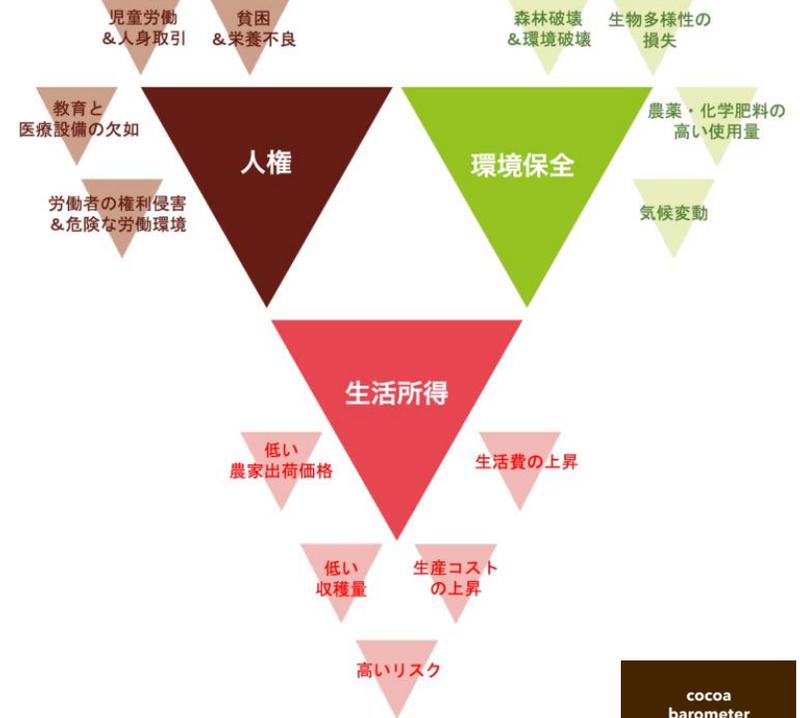


Cocoa
Barometer
2002
共同発行

市民社会組織のグローバルネットワークを拡大

- カカオのサステナビリティ課題に関わる、欧州、西アフリカ、アメリカ、オセアニア、アジアの24の市民社会組織によって構成される、VOICE Networkに加盟。
- 各地域・国での人権デューデリジェンス法制化やカカオの持続可能性に対する企業の動向についての情報交換、調査の進捗および結果の共有などを強化。
- 児童労働、生活所得、森林破壊など、カカオ産業が抱える課題の調査報告書「カカオバロメーター 2022」を共同発行。
- カカオバロメーター2022エグゼクティブサマリーの日本語版を初めて発行。

カカオ・プロブレム・ツリー



VOICE Network © 2023

▼ 「カカオバロメーター2022」

<https://www.bhr.acejapan.org/post/20230208>

カカオ産業における共通課題

トレーサビリティ

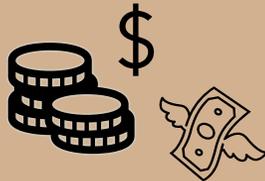


モニタリング



生活所得の向上

カカオ農家が
生活に必要な最低限の
収入を得られていない



児童労働

就学年齢の子どもの労働。
18歳未満の子どもの
危険有害労働。

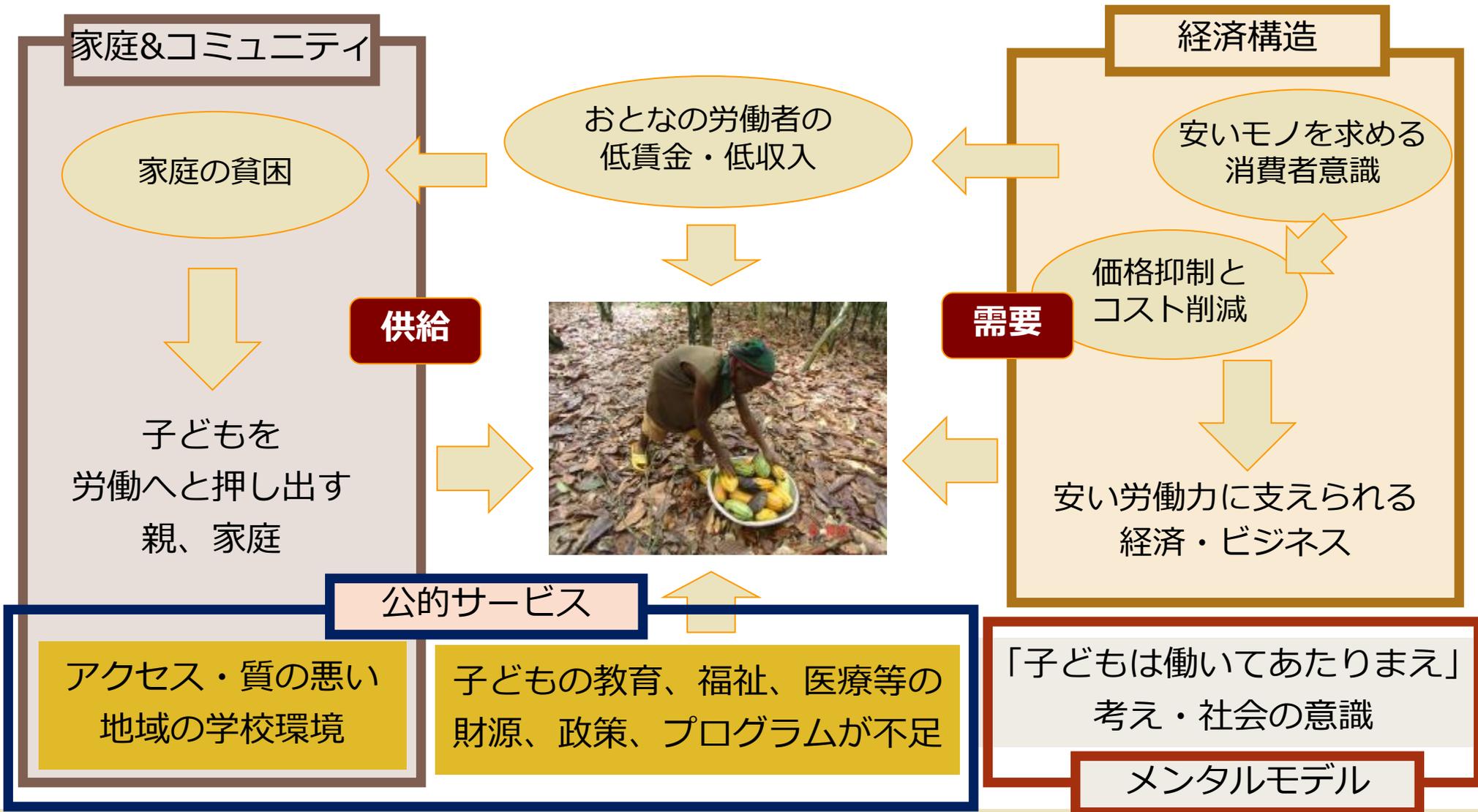


森林伐採

カカオ栽培地拡大のため、
森林を伐採する。

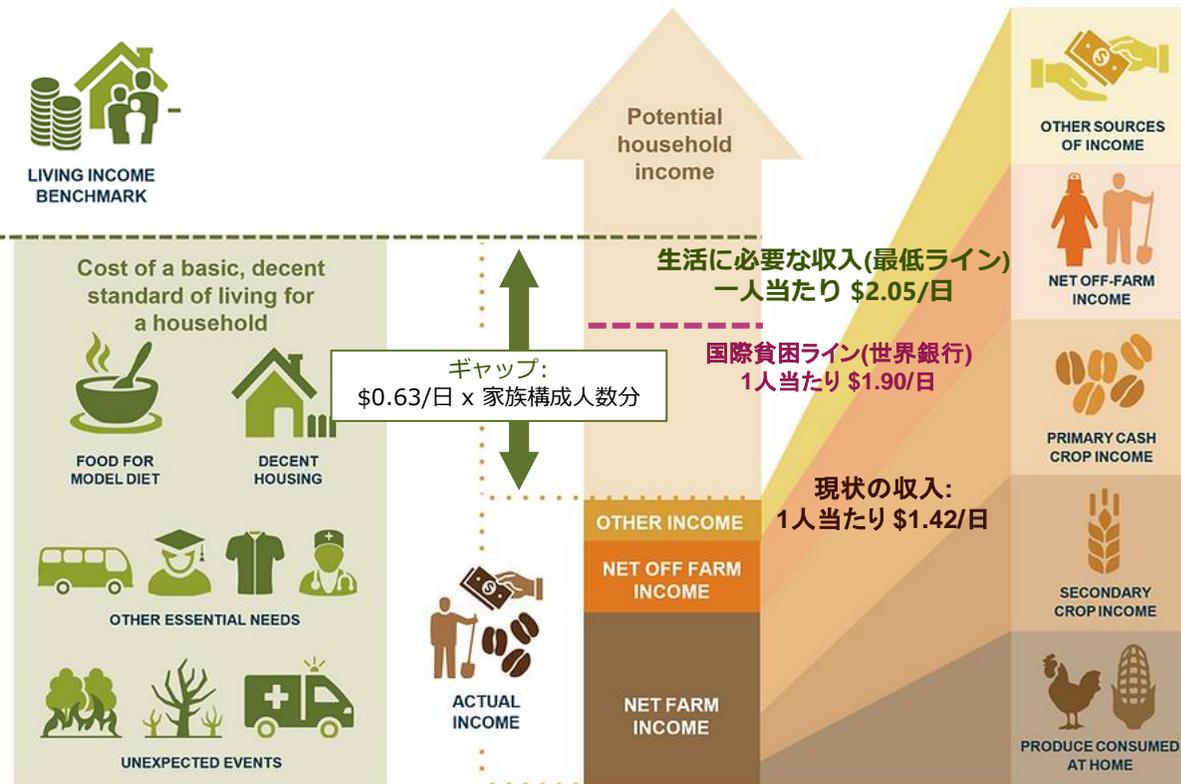


児童労働を、ひとつのシステムとして捉える



リビング・インカム・ギャップ

- 生活所得とカカオ栽培に必要な農地へのアクセスが確保されているカカオ農家は全体の3分の1
- 多くのカカオ農家が国際貧困ライン（1人当たり\$1.90/日あるいはそれ以下で生活、世界銀行）を下回る水準で生活している。
- 企業による購買慣行の是正、特に買取価格を上げること、長期安定契約と実行が求められる。



- 生活所得 (living income) : 栄養のある食事、清潔な水、適切な住居、教育、医療、その他必要なものを含め、世帯員全員が適切な生活水準を維持し、農作業の費用をまかなった上で、さらに緊急時の支出や貯蓄することができる十分な収入。(Global Living Wage Coalition)

生活に必要な最低金額
2020年3月時点
単位: \$

		Living income	現状	ギャップ
一人当たり	1日	2.05	1.42	△0.63
五人家族 両親+ 子ども3人 ガーナ	1日	10.25	7.10	△3.15
	1ヶ月	318.00	220.10	△97.9
	1年	3816.00	2641.20	△1174.8

Y. Waats (2021)よりACE作成

カカオ・チョコレート業界で指摘されている課題へアプローチ



シカゴ大学NORCのレポート（2020年1月）

- めざしていた目標は達成できなかった
- **カカオ生産量が60%増加した一方で、児童労働に大幅な増加はなかった**



これまでの取り組みには
一定の効果があった

世界カカオ財団報告

- カカオのサプライチェーンのうち、**何らかの介入**が入っているのは**15～20%程度**
- WCFのCocoaActionは、**企業同士の連携**を進めた点においては効果があった。
- 他のステークホルダの参画、特に**生産国における政府や自治体の巻き込みが不十分**
- **システムチェンジを起こすための介入のデザイン**ができていなかった

(2021年のWCFパートナーシップミーティングのセッションより)

欧州連合報告書*

- カカオ**生産世帯**のうち、**何らかの介入**が入っているのは**10～20%程度**
- 介入によって児童労働から解放された子どもが、その後元に戻らないかは不明。
→ **介入の効果の持続性が低い**
- 貧困、社会サービスの不足、インフラの不足（学校、道路、保健センターなど）、子ども保護の**行政支援の不足**が課題。

* EU (2021) Ending Child Labour and Promoting Sustainable Cocoa Production in Cote d'Ivoire and Ghana.

企業がサプライチェーンに対応するだけでは不十分。

カカオ生産地の政府・自治体を巻き込んでシステムチェンジを起こすことが必要。

児童労働フリー・ゾーン(CLFZ)制度構築に向けての取り組み

ガーナ共和国 カカオ・セクターを中心とした児童労働に係る情報収集・確認調査	
目的	<ul style="list-style-type: none">• CLFZガイドラインの実施、児童労働撤廃の取組を後押しする• ガーナにおける児童労働撤廃に向けた、将来的な連携可能性を特定する (SDG8.7達成を見据えて)
実施期間	2020年10月～2022年6月
カウンターパート機関	雇用・労働関係省 (労働局・児童労働ユニット)
連携機関	児童労働に関する国家委員会 (NSCCL)、教育省、ジェンダー・子ども・社会保障省、地方自治・農村開発省など
主な活動	<ul style="list-style-type: none">• CLFZガイドラインに基づいたパイロット活動の実施支援• 文献調査、関係者ヒアリング等による情報収集• プラットフォーム関係者との情報共有、意見交換
実施組織	認定NPO法人ACE、アイ・シー・ネット株式会社
報告書	「ガーナ共和国カカオ・セクターを中心とした児童労働に係る情報収集・確認調査ファイナル・レポート」 https://libopac.jica.go.jp/images/report/12337028.pdf

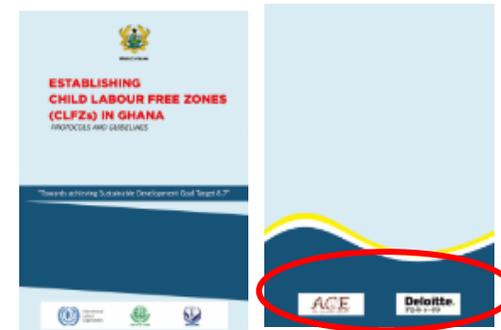
ガーナ政府による 児童労働フリー・ゾーン(CLFZ)制度

児童労働撤廃に向けた国家計画（NPA2）における活動の一部として、2020年3月に、ガーナ政府が「CLFZ構築のためのガイドライン」を発行。

児童労働フリーゾーン(CLFZ)とは？

児童労働の予防と解決のための要件が、コミュニティおよび自治体レベルで整っている地域。

No	主な指標区分（要件）
A	効果的な意識啓発とアドボカシー
B	子どもの保護に関するコミュニティ規則の制定と実行
C	児童労働モニタリングシステムが存在し、機能している
D	児童労働の被害を受けた子どもや保護者に対する、効果的な照会制度（ケースマネジメント）、支援策
E	適正な学習環境（学校環境、教員の配置などを含む）
F	自治体レベルにおける実施体制（条例の制定、行政機関の連携、計画、予算への組み込みを含む）
G	統合的なエリアベースアプローチ
H	児童労働の割合を10%以下に削減する



ガーナ雇用労働省（MELR）、ILO、労働組合、NGOなどで構成される専門作業部会での策定作業を、ACEとデロイトトーマツコンサルティング合同会社が支援した。



調査での気づき: 標準化されたCLFZ指標の有効性

コミュニティのデータ収集とパイロットコミュニティの選定

- 小学校のあるコミュニティ対象 (小集落は除く)
- CLFZ指標 (A~E) を元にした質問票調査

- 郡①: 110コミュニティ (全257コミュニティ)
- 郡②: 82コミュニティ (全197コミュニティ)

グレード	色	達成率(%)	郡①	郡②
A	緑	90%以上	33%	15%
B	薄緑	80-89%		
C	薄い青	70-79%		
D	黄色	51-69%	31%	33%
E	ピンク	40-50%	35%	52%
F	赤	0-39%		

<CLFZ指標に沿った質問項目>

- 啓発活動 ・村の規則 ・住民登録 ・CCPC ・村の活動計画
- レファラルシステム ・救済システム
- SMC/PTA ・学校環境 ・教員の配置 (小・中)

Area Count	Epi-center Commu	A1	B1	C1	C2	C6	C7	D	D	C3	E1,2	E3	E3	al Point	ide
1 Nyinahin	1 Nyinahin	2	1	0	0	0	0	2	2	2	0	2	1	14	D
2 Nyinahin	2 Adupri	2	0	0	2	2	2	0	2	2	1	0	1	14	D
3 Nyinahin	3 Kyerayaaso	0	1	0	2	2	1	2	2	1	2	2	1	18	C
4 Nyinahin	4 Bofaaso	0	0	0	0	0	0	2	2	2	1	2	1	12	E
5 Adobewura	1 Adobewura	2	0	0	0	0	1	2	2	1	1	0	1	12	E
6 Adobewura	2 Anhiamao	2	1	0	2	0	0	2	2	2	1	2	1	17	C
7 Adobewura	3 Bontomuruso	2	0	0	0	0	1	2	2	1	1	2	2	15	D
8 Adobewura	4 Ntobroso	2	0	0	0	0	0	2	2	1	1	2	2	14	D
9 Adobewura	5 Atuntuma	2	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	1	6	F
10 Adobewura	6 Afepaye	2	0	0	0	0	0	2	2	1	0	0	2	6	F
11 Adobewura	7 Atwima Achiase	0	0	0	0	0	0	2	2	2	1	2	2	13	D
12 Anyinamso	1 Anyinamso No.2	2	0	0	0	0	1	2	2	2	1	2	2	16	C
13 Anyinamso	2 Amadaa	0	1	0	0	0	1	2	2	2	2	2	2	16	C
14 Anyinamso	3 Ampenkro	2	1	0	0	0	1	2	2	2	1	0	0	13	D
15 Anyinamso	4 Anyinamso No.1	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1	0	0	7	F
16 Anyinamso	5 Abasua No.2	2	0	0	0	0	1	2	2	2	1	0	1	13	D

日本でも、持続可能なカカオに向けた協働プラットフォームが発足

2020年
1月

「開発途上国におけるサステイナブル・カカオ・プラットフォーム」

- カカオを取り巻く多くの課題を解決するために、企業やNGO等、あらゆる関係者が知見を共有し、協働する場
- 52組織、102個人が参加（2023年2月）
※業界団体、製菓企業、商社、コンサルティング企業、NGO、法律家ネットワーク等
- 事務局は独立行政法人国際協力機構（JICA）



Platform
for Sustainable Cocoa
in Developing Countries

2021年
12月

「児童労働撤廃分科会」発足
(JICAとACEが共同発起人。24組織が参加)

プラットフォームウェブサイト
<https://www.jica.go.jp/activities/issues/governance/platform/index.html>

2022年
9月

- 「児童労働の撤廃に向けたセクター別アクション」をリリース。
チョコレートメーカー、商社、NGOを含む、18組織が賛同を表明。

児童労働撤廃に向けたセクター別アクション

- 🍌 「カカオ産業における児童労働の撤廃」分科会メンバーがドラフト
(2021年12月に分科会設置)



- 🍌 児童労働撤廃に向けて各関係者に期待される具体的な行動を示すもの

- ・ 6つの対象（セクター）別に、9つの項目に対して、
求められる行動を整理
- ・ 2022年9月にリリース
- ・ 18の企業・団体が賛同表明（2022年9月末現在）

開発途上国におけるサステイナブル・カカオ・プラットフォーム

(参考) アクション毎の具体的な行動

- 消費者エンゲージメントの促進
消費者に対する児童労働の現状や加害者の必要性・インパクトの発信により児童労働に取組む意思の醸成を促進
- 認証制度の強化
児童労働の撤廃に向けた認証制度の強化
- 情報公開
取組みに関する定期的な報告と情報公開

児童労働撤廃に向けたセクター別アクション
開発途上国におけるサステイナブル・カカオ・プラットフォーム
児童労働分科会
2022年9月

開発途上国におけるサステイナブル・カカオ・プラットフォーム

開発途上国におけるサステイナブル・カカオ・プラットフォーム
開発途上国におけるサステイナブル・カカオ・プラットフォーム
開発途上国におけるサステイナブル・カカオ・プラットフォーム

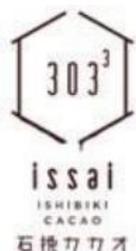


(JICA発表資料に一部加筆) 8

「セクター別アクション」のダウンロード: https://www.jica.go.jp/activities/issues/governance/platform/child_labor.html

セクター別アクション賛同会員

賛同企業・団体一覧（2023年2月時点）※50音順



「児童労働撤廃に向けたセクター別アクション」より抜粋

児童労働撤廃に向けて、各セクターに求められる貢献度合いを示す

児童労働撤廃に向けたセクター別アクション（セクター別貢献度）

●：特に高い貢献が求められる目標
●：貢献が求められる目標

	商社・ 加工業者 	メーカー (大手) 	メーカー (中小) 	小売業 	NGO、ナレッジ 機関、認証機関 	政府・ 政府機関 
 調達比率	●	●	●	●	●	●
 産地特定とリスク調査	●	●	●	●	●	●
 是正措置	●	●	●	●	●	●
 情報共有	●	●	●	●	●	●
 マルチステークホルダー連携	●	●	●	●	●	●
 生産地支援	●	●	●	●	●	●
 消費者エンゲージメントの促進	●	●	●	●	●	●
 認証制度の強化	●	●	●	●	●	●
 情報公開	●	●	●	●	●	●

メーカー（大手）のアクション

メーカー（大手）



1 調達比率

- サステイナブル・プログラム原料、あるいは認証原料を優先的に調達し、割合を増やす。
- そのための戦略を策定し、かつサプライヤーに対しても戦略の策定を要求する。



2 産地特定とリスク調査

- サプライヤーや第三者機関と連携しながら、自社製品に関連する原料のトレーサビリティ、調達元地域を特定し、児童労働のリスクを調査、把握する。



3 是正措置

- 自社が調達する原料の調達地域において、特定された児童労働事案に対して、適切な是正措置を取る。または、現地協力団体等を通じて、適切な是正措置の実施を支援する。



4 情報共有

- 児童労働に関するリスク、モニタリング、是正に関する情報共有プラットフォームの構築に参加・協力し、適切かつ効率的な連携を目的として、サプライチェーンにかかる情報を共有し、統合する。
- また効果的かつスケールアップ可能なアプローチを検討するための、先進事例やナレッジを共有する。



5 マルチステークホルダー連携

- 生産国及び消費国のステークホルダー（国際機関、国、地方自治体、政府機関、民間企業、市民団体等）や関連するイニシアチブと協力して、マルチステークホルダー連携を推進する。
- マルチステークホルダーのプラットフォームに参加する。



6 生産地支援

- カカオ生産国、自治体における、児童労働の防止、撤廃および、児童労働の根本原因への対応（教育、生活収入の保障等）または関連するその他の課題（森林破壊等）への対応について、カカオ生産地域のコミュニティの社会的・経済的エンパワメントのための取り組みを支援する。
- 上記に関連する制度環境、公共サービスの整備・改善を支援する。
（例：必要なリソースの提供、現地協力団体を通じた支援活動、政府助成金・補助金を活用した活動、政府事業の受託等）



7 消費者エンゲージメントの促進

- サステイナブル・プログラム原料、あるいは認証原料を使用した商品など、児童労働によらないカカオ製品の購入を一般消費者に促進するため、生産国の現状や自社の取り組みを製品やその他の活動を通して発信し、適宜NGO・政府・他企業とも連携して啓発を行う。



8 認証制度の強化

- 認証制度を積極的に活用したり、児童労働へのアプローチをさらに強化するために意見を共有し協力する。



9 情報公開

- サステイナブル・プログラム原料、あるいは認証原料の調達状況、サプライチェーンにおける児童労働モニタリング・是正措置の取り組み状況など、関連する取り組みを定期的に報告する。

つかもう 児童労働のない未来を

ACE
SDGs プロジェクト
2023

©Natsuki Yasuda/Dialogue for People

- 子どもの権利をあたりまえに！**
今、ACEと一緒に未来へのアクションを
- ▶ 目標金額：1500万円（All or Nothing）
 - ▶ 実施期間：6月2日（金）～7月31日（月）

ご支援
よろしく申し上げます

https://readyfor.jp/projects/ACE_SDGs2023?utm_source=ACE&utm_medium=referral&utm_content=main&utm_campaign=ACE